

第1回護岸整備懇談会の開催結果概要(案)

開催概要	
日時	平成25年8月22日(木) 17時00分～19時00分
場所	千葉県国際総合水泳場 会議室
参加者数	31名
出席委員	8名(◎遠藤茂勝、工藤盛徳、榊山勉、及川七之助、澤田洋一、松本好司、歌代素克、佐々木洋晃)◎：座長
結果要旨	
◇報告事項	
○1) 護岸整備懇談会設置要綱	
事務局から資料1により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・特になし	
○2) 第6回護岸整備委員会の開催結果概要	
事務局から資料2により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・3丁目の護岸は引き続き実施することでよいか。	
⇒引き続き実施する。(事務局)	
・「ポイントに海岸保全区域の項目が漏れている」とあるが、どういうことか。	
⇒湾曲案にした場合、海岸保全区域の変更が生じ、事業に影響があるため、検討のポイントに加えた方がよいという意見(事務局)	
○3) 2丁目護岸モニタリング調査の結果概要	
事務局から資料3により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・これまでの地形変動について、変動の傾向を整理してみてもどうか。	
⇒ご意見のとおり整理したい。	
○4) 1丁目護岸モニタリング調査の結果概要	
事務局から資料4により説明後、質疑応答。	
[主な意見及び対応]	
・移動性生物(タマキビ、アラレタマキビ)については、潮位と連動して移動するため、調査する際には、一定の潮位、または一定の時間で調査するなど工夫が必要である。	
・潮位と確認数の相関はどうなっているのか調べてみると良い。また、注釈を付けておくと良い。	
⇒事業後の検証評価を行う段階で、表現等を工夫したい。	
◇議題	
○1) 2丁目護岸(残された200m区間)の整備について	
事務局から資料5により説明後、質疑応答。	

裏面に続く

[主な意見及び対応]

- ・環境学習の場やマウンドは、県と市のどちらが事業主体なのか。既に直線整備で決まったのではないか。
⇒事業主体は市川市となります。
- ・漁業者としては、土砂が流れ出すものは賛成できない。
- ・まちづくり会議でも護岸は直線ということで進めている。

○2) 1丁目親水テラスの休憩施設について

事務局から資料6により説明後、質疑応答。

[主な意見及び対応]

- ・特になし

以 上